

令和5年度第3回花巻市立図書館協議会 会議録

1 開催日時

令和6年2月29日（木） 午前10時～午前11時41分

2 開催場所

花巻市立花巻図書館 会議室

3 出席者

(1) 委員（10名）

林博文委員、小田島圭委員、堀合範子委員、中里美香委員、畠山孝子委員、高野橋加子委員、坂本知彌委員、佐藤三恵子委員、及川智子委員、佐藤可那実委員

(2) 事務局（8名）

市川生涯学習部長、鈴木花巻図書館長、高橋花巻図書館副館長、佐々木花巻図書館業務係長、小原大迫図書館長、辻村石鳥谷図書館長、大森石鳥谷図書館主査、菅東和図書館長

4 欠席者

2名（佐藤貴哉委員、熊谷恵委員）

5 傍聴人

1名

6 議題等（議事録）

会議成立の報告（高橋花巻図書館副館長）

- ・委員10名出席。花巻市立図書館協議会規則第7条により、本会議が成立することを報告。

1 開会（花巻図書館高橋副館長）

2 あいさつ（坂本会長）

皆様おはようございます。年度末のお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。令和5年度を振り返り、6年度に向けてよりよい図書館運営がなされますように皆様のご意見を頂戴したいと存じます。どうぞよろしく願いいたします。

3 議題

（1）令和5年度花巻市立図書館の事業実施状況等について

- ・令和5年度花巻市立図書館の事業実施状況について、花巻図書館から順番に各館が説明（資料1）。

花巻：佐々木業務係長、大迫：小原館長、石鳥谷：辻村館長、東和：菅館長

（質疑）

（○中里委員）

事業の内容や様子について説明いただいたので伝わってきました。ありがとうございます。東和図書館に質問ですけれども、10ページの4つ目の図書修理「本の病院」ですけれども、私も結構前に利用したことがあってすごくいいなと思ったんですが今年度は実施は無しということでしょうか。

（○菅東和図書館長）

図書修理「本の病院」についてですが、いつもやってもらっているボランティア団体さんとずっと協議をしてたんですけども、コロナで団体自体が活動を自粛してたというところがありまして、代表の方と話をして、今年度はちょっと難しいということで、来年度に向けて実施できるように調整していきたいと思っております。

（○中里委員）

ぜひまた復活していただきたいなと思います。あと同じく東和図書館さんの感想ですけれども、ギャラリー展示のこの消防車両の絵を飾ったっていうのは、多分、自分のお子さんの絵が飾ってあるので、親御さんも見たいなと思っていっぱい来館されたと思うので、こういう取り組みがいいなと思いました。

（○堀合委員）

石鳥谷図書館の中に9ページに上の方の企画図書展の中で、「みんなで読もう！寄贈いただいた本展」というのがあって、とてもいいことだなと思いました。自費出版した方とかの本を展示していただくと、図書館で買う本とはちょっと違った本もあつたりして、市民にはこういう本を出している人がいるのかなということを知っていただけとか、そういった意味でも他の館でももし考えられるのであれば、実現していただければなと思いました。

(○坂本会長)

質問していいでしょうか。石鳥谷図書館のミニミニ講演会ですけれども、子供の読書を推進する上で、「本が好きになった訳」というのは、本人から聞くのはすごく有効なんだろうなと思って気になってたんですが、ちょっと他の用事があって参加できなかったんです。中身もちょっと詳しく教えていただければ。関係者を前にしてお話しにくだかなとは思うんですけれども。

(○辻村石鳥谷図書館長)

佐藤花巻北中校長先生がインタビュアーという形で、良香さんに子供のときはどうでしたか、という話をしつつ、そのときの気に入っていた本を教えてくださいとか、あと、三恵子さんと一緒に読み聞かせをしていただきました。私も最初の方しか出席しなかったんですけれども、そういう感じでアットホームな感じで話を続けて、小学校の時期とか、今気に入ってるものとかっていうものを、この本ですという風に実物の本を見せながら、あとは読み聞かせをしながら講演をしていただきました。

(○佐藤三委員)

お話の中に図書館だけでなく、学校の各教室に貸してくれた団体貸出しの中から、今も心に残る本があるとか、ぼら一の移動図書館の中で母が娘にいいんじゃないかなと思って借りた本の思い出とか、そういう図書館にまつわる話もたくさんしたんですけど、私も娘の話を聴きながら、娘は今二十歳なんですけど、20年振り返って、学校で交流する同世代の子供たちと先生だけでなく、図書館に通うことで図書館のスタッフの方たちと話をすると、娘は小学校6年生からボランティア活動をしていますので、校長先生のような大人の方たちと交流するとかして、親だけでなくたくさんの方々に成長を見守ってもらったなと思ったし、読んだ本の作品に出てくる登場人物の生き方とかそういうものに励まされて力をもらってたんだなっていうふうに思いました。

(2) 図書館来館者アンケートの結果報告について

- ・図書館来館者アンケートの集計結果について、鈴木花巻図書館長が説明（資料2）。

(質疑)

(○堀合委員)

アンケートの対応方針への対応が早くて素晴らしいなと思っております。実は私も質問しようかなと思っていたところの回答がすでに書かれておりました。もう一点は貸し出し冊数のことですけれども、10冊1ヶ月を継続した方がいいという意見が大変多いようで、いつまでこれを続けるかということですが、新しい図書館でも大体どの期間で何冊位を貸し出したらいいかということも大変参考になるようなデータが出たのではないかなと思って見ておりました。

(○中里委員)

3つ質問、意見があるんですけども、まず1つ目このアンケートいっぱい書かれて市民の方が書いてあるんですけども、この対応方針って答えが出ていますが、これは例えばこのアンケートを書いた人は、目にすることができますか。

(○鈴木花巻図書館長)

ホームページには掲載いたしますし、図書館に入っただいですぐの情報コーナーと2階に印刷したものを配置します。もちろん4館に置きます。

(○中里委員)

わかりました。あと、このアンケートを書くタイミングで、例えば将棋の本があると良いとか、この雑誌を入れてほしいとか、意見も書く機会があったと思うんですけども、このアンケートだけじゃなくても普段からリクエストだったり、ちょっと要望を伝える機会がいつもあるといいなと思うんですけども、現時点でありますでしょうか。そういう仕組みというか、何か紙を置いているとか。

(○鈴木花巻図書館長)

現時点では、中里さんがイメージされているような形では対応してないので、窓口でそういった意見をいただければ、参考にするという状況です。

(○中里委員)

はい、わかりました。このアンケートの中で、本の題名もわかっていて、こういう本があると良いです、っていう質問の回答で、書庫にあります、って書いてあったので、残念だなって。その方が直接カウンター職員に聞くとかすれば、借りて帰られたのになって、ちょっと残念だなって思いました。

あともう1つは、3ページ目の27番でホームページに自分のログインページが欲しいですっていうのも、これも結構前からあるので、何かには周知してあるんだと思うんですけども、もうちょっとみんな知ることができるといいなと思いました。すごく便利ですので、ぜひ知っていただきたいなと思います。

(○鈴木花巻図書館長)

最初の、本があるのに残念ながら見つけれなかったという方に関しては、いろいろと調べてみました。この本のタイトルですが、意見に記載していただいているのが「あそび」の部分が平仮名ですので、この方は平仮名で検索入力をしたのではないかなと思うんですが、正しいタイトルは「遊び」は漢字で表記されています。実は検索する際は、すべて正しい表記で入力するか、全部平仮名で入れるかどちらかでないと対応できないようでした、一部だけが平仮名だと検索してもヒットしないんです。もしかするとそれで蔵書がないと思われたのかなと思います。今おっしゃられたように、ログインすれば、自分の利用状況がわかるんですが、さらにそれに付け加えて、履歴が残せるようにしていきたいと申しあげましたけれども、そういう機能をこれから周知して行って、それに併せて検索の仕方なども改めてお知らせできれば、もっともって使っていただける方が増えるのかなと思っておりますので、その対応は考えていきたいと思っております。

(○堀合委員)

今、中里委員さんがおっしゃったことで良いなと思ったことが1点ありましたので、ちょっと話させていただきます。このアンケートを取る時期に限らず、利用者が気付いたことを書いて入れるような箱みたいなのは、そう難しいことではないのかなと思います。今は受付のカウンターとかっておっしゃっていましたが、できれば入口の近くとか、職員の前で入れにくいという内容がもしあったとしたらですね。あるいは、新聞を見た方で何か気がついた方も2階に上がらなくても出せるとか、学習室を使うだけに来てる人も出せるとかっていったようなものもあれば、帰りにでも館長さんなり司書の方がその箱を開けてみたりと。毎日でなくてもいいと思います。何日かに1回でもいいと思いますが、そんなに難しいことではないのではない

かなと思います。目安箱とは言いませんけれども、実現できればよろしく願いいたします。

(○鈴木花巻図書館長)

利用者の方が気軽に意見や要望を伝えられるというのは、必要なことと考えておりますので、今後検討したいと思っております。例えば蔵書に関していうと、購入のリクエストとか、相互貸借という方法があります。ただ、そこまで強い要望ではなくて、あったらいいなという感じの要望だとしても、応えられるか否かは別として、意見を聴く仕組みは必要かと思えます。意見、要望の聴き方とそれを聴いたあとの扱いをどうしていくのかをちゃんと整理したうえで考えたいと思えます。

(○佐藤三委員)

現在の図書館に望むことのアнкケートの、79番の50代大迫地域の方が、「昔の文学全集は字が小さく読みづらいので、リニューアルされている版を購入して入れ替えて欲しい」という意見があったんですけども、私最近、図書館にある「グリーン・ノウの子どもたち」という児童書を読んだんですけど、1978年版で字が小さくて、昔の活字で今みたいな感じじゃないんです。でも内容が自分好みですごく面白かったので本屋さんに注文したら、同じ出版社からの新装版が届いて、新装版は2008年が初版で私の手に来たのは2022年の11刷なんですね。だから、その「グリーン・ノウの子どもたち」を図書館で手にしたら、子どもは古い本だと思うけれども、もし新装版だったら借りて読むかもなっているものが、この本に限らず結構あるんですよ。皆さん新刊本が欲しい、新刊本が読みたいってリクエストが多くて、こんなに新しい本が読みたいんだなって思いましたが、本屋さんで売ってあるような本は買わないで図書館でリクエストして、その本を読みたいなっていることかもしれないし、新聞とか雑誌とかで書評とか読んで、ちょっと読みたいな、図書館にあれば借りて読むなって気持ちもすごくよくわかりますが、じゃあ、新しい本て何なのか、外見なのか内容なのかっていうことを、私はもうちょっと吟味したいような気がして。新しい本て何なのかって考えたときに、自分が知らない、少し前に出版されてるけど自分は知らない本だったらそれは自分にとって新しい本ですよ。だからもしも、新聞とか書評とかに書いてある紹介文を見て、読みたいな、借りようかな、て思う人がこんなに多くいるのであれば、今ある本、蔵書をどう活かしてくかっていうことを考えたときに、これはこういう本ですよ、ていうものをもっと来館者にアピールできれば、それ借りてみようかなって思う人もいます。つまりこの新刊を読みたいって人の情報は

どこから得ているかっていうと、新聞や雑誌なんだっていうことですよね。新聞や雑誌で紹介している本は、書店が本を売りたい、そういう商業ベースのものが多いわけで、そういう情報にのっかてるわけですから、図書館の蔵書をどう活かしていくかっていうことを、もうちょっと図書館も考えると、新しい本だけで来館者の要求を満たすというのも正しい方法かもしれないけど、今ある蔵書を活かす、もともと図書館というのは本屋さんと違って本を保存していくっていう役割がある。それが第一のサービスなわけですよ。つまり今私たちは、本を欲しいと思っても本屋にはないけど図書館にはある、だから図書館から借りれるっていうのが図書館の一番大事な役割だから、このアンケートを見ると、新刊本が欲しいっていう人に対して出来るだけ答えるようにしたいっていう風に答えは書いているけれど、本当の新しい本の意味っていうのをなんかみんなで考えたいなって思いました。

(○佐藤可委員)

3つほど意見、質問なんですけど、1つ目のご意見ボックスについてなんですけど。この本欲しいとか、そういうご意見じゃなくても、ちっちゃい意見というか、この本の何ページが汚れてますとか、トイレ前の蛍光灯が切れそうですみたいなちっちゃい意見でも入れられるようなボックスがあると私は嬉しいので、あると良いかなと聞いてて思いました。

2つ目ですけど、資料2の36ページのアンケートで、設問7の3なんですけど。探していた本や資料を見つけることができましたか、それは仕事や資格習得の役に立ちましたか、というように2つ質問しちゃってるんで、本は見つかったけど役に立たなかったという人と、本は見つからなかったという人が両方不満に入れちゃうから、何かアンケートの質としてちょっと悪いかもと思いました。精査するときちょっと厄介な質問だなと思いました。

3つ目なんですけど、やっぱり図書館整備のご意見を見て、やっぱり年代の上の方のアンケートの回答が多いんだなと思ひまして、年上の方々の発信する力とか、行動力に関しては、すごいなっていうものをやっぱり新聞とか、家に図書館どちらがいいですかという人が来られたりして、すごい行動力だっと思ったんですけど、やっぱり若い世代の意見を取り入れていきたいところだなと思うので、難しいのかもしれないですけども、図書館でアンケートを取っても若い世代の答えがもらいにくいっていう感じなので、学校とかで聞けたらいいのかなと思ったりしました。結構、年代上の方々が、花巻駅だと子どもたちが便利だと思うっては書いてあるんですけど、若い人

たちの意見というか、若い人たちの意見を代弁してる大人たちが多くなつて、ちょっと見て思ったので、実際のところどう思ってるのかなっていうのは聞きたいなと思いました。私自身はどちらでもいいと思ってる派なので、若い世代の意見も聞ければ、もっと良い図書館になるんじゃないかなと思います。

(○鈴木花巻図書館長)

ご意見ボックスについては、確かに本に関する事以外にもあるのかもしれませんが、検討してみたいと思います。アンケートについても、質問の仕方をちょっと検討してみたいと思います。それから、最後の若い人の意見ということですけども、これは、私も新図書館の試案検討会議の委員になっておりますので、ご意見として計画室に伝えたいと思います。

(○高野橋委員)

アンケートの質問内容の1番最後のところ、37ページの10番ですが、「富士大学附属図書館を利用できますが、利用したことがありますか」というのは、今年度、削除になってるんですが、その理由は富士大側でしょうか、それとも、こちらなんでしょうか。

(○鈴木花巻図書館長)

今回、貸出期間の延長などについての質問を追加して、アンケート数が多くなるということもあって、今回はカットしました。必要があればまた考えていきたいと思えます。

(○高野橋委員)

去年、市の図書館のカードを持ってても、富士大で借りるときはやっぱりあっちのカードを作らなきゃいけないし、特にメリットがそんなにない気がしますって質問して、その結果がこれなのかなと思ったもので。差し替えの方の2ページの19番にある「今は株に興味があり、経済系の本が欲しい」という方がいますが、あそこは経済学部ですので、相互貸借で借りて来たり紹介したりってことが出来たのに、今その連携がなくなったのかなと疑問に思ったものです。ただ、ちょっと富士大学の方も変わったのかな。長期休業の時は閉館になったりしてましたので、その辺の連携は今後どうするのかというのが気になりました。

(○鈴木花巻図書館長)

富士大学の図書館が利用できますということに関しましては変わりありません。アンケートはさっきのような理由で今回はカットしたんですけれども、特に富士大とのやり取りには変わりはありません。富士大学の図書館も使っていただけるようにということは、引き続きやっていきたいと思っております。

(○高野橋委員)

わかりました。経済学の本は物凄くあるし、あとスポーツ関係の雑誌とかもたくさんあるところなので、一般の人をもっと利用していいんじゃないかなって思いました。

(3) 令和6年度花巻市立図書館の運営方針及び事業計画について

- ・令和6年度の運営方針及び事業計画について、鈴木花巻図書館長、小原大迫図書館長、辻村石鳥谷図書館長、菅東和図書館長から説明

(質疑)

(○佐藤三委員)

重点目標の新花巻図書館整備に向けての電子図書館についてなんですけど、この「こどもとしょかん180号」なんですけど、この本は、前の花巻図書館梅原館長に私が要望して定期購読を始めてもらったんですけど、これを時々蔵書検索をして確認するんですけど、ほとんど借りられてなくて、最近石鳥谷図書館のスタッフの人にこの蔵書のいきさつを説明して借りてもらったりしてるんですけど、この一番新しい、今年1月発行の180号は、電子図書館の現状について、特に図書館の電子書籍の貸し出しサービスについて詳しく書かれていましてですね、新花巻図書館の準備をなさっている職員の皆様、特に花巻図書館長様にですね、ぜひ読んでもらいたいなと思ってご紹介します。

(○鈴木花巻図書館長)

ありがとうございます。読ませていただきます。

(○坂本会長)

いろんな機関との連携っていうのがキーワードのようなんですけれども、この令和6年度の花巻市立図書館運営方針についてご承認いただけますでしょうか。皆様うなずいてらっしゃいますので、承認ということでございます。よろしく願いいたします。

(4) その他

(○市川生涯学習部長)

新花巻図書館の状況について説明をしたいと思います。前回12月の図書館協議会の際にも、お話をしておりましたが、新花巻図書館の建設場所について調査をするということをお話しておりましたが、2ヶ所に絞られてきておまして、駅前と旧総合花巻病院跡地ということで、これについて事業費とかイメージ、どのような図書館ができるかっていうのも含めて、市民に改めてご説明ができるような形でしっかり調査したいということをお話いたしました。これにつきましては、昨年12月の議会定例会におきまして、補正予算を承認、議決いただきまして、令和6年1月15日に入札を行いました。新花巻図書館建設候補地比較調査業務という内容になりますが、大日本ダイヤコンサルタント株式会社という大手のコンサルタント会社が落札いたしまして、そこと契約をいたしました。これによりまして調査をして、二つの候補地について比較できる資料を作ってくださいということになりますし、その後、また皆様方に資料をお示しできるようにしていきたいというものでございます。また、1月30日に第14回の新花巻図書館整備基本計画試案検討会議を実施いたしました。その際にも先ほど申し上げた契約についてはご説明いたしましたし、あと14回の試案検討会議においては、新しい図書館の開館時間について議論をいただいております。これにつきましては以前も1回議論いただいた中で、午前10時から午後6時とか、午前10時から午後7時とかってというような話をした中で、もう少し早くから開いてほしいという意見と、あと高校生などは勉強もちょっと遅くまでしたいなというような意見がありまして、そのようなことを踏まえまして、午前9時半から午後7時までの開館とした上で、午前9時から午後9時までは学習室を利用できるようにするという案で、現段階ではまとまっているという、そういう状況でございます。また、蔵書数に等につきましても議論をいたしまして、これもこれまでの試案検討会議で検討してきた経緯の中で、現段階では、オープン時は28万冊の図書館として収蔵能力は70万冊という規模を目安として、試案には書いていきたいというところでまとまっております。ただ、今後の利用状況とかですね、佐藤さんがおっしゃったとおり、デジタル化の図書館の影響というののもいろいろありまして、そこもまだ見えてないところもあるんで、そこもしっかり検討しながら。また、人口減少ということもありますし、財政状況というのもあります。いろいろ検討していかなければいけない内容がたくさんあるんですけども、そういうのも踏まえまして、今後も検討していくというよ

うなことを書きながら、現段階での蔵書数、オープン時の冊数等も検討してきたというところがございます。まとまった後には、皆様にもいろいろご意見をいただくような形で見ていただくこととなりますので、どうぞよろしく願いいたします。新図書館につきましては、現状、このような状況であります。

先ほど、高校生の方から直接意見を聞いてはどうだっというような意見をいただきました。過去に市内の6校にワークショップというかですね、6校に行って意見交換をしたことがあります。建設場所についても聞きました。ただそれは高校生全員というわけではなくて、学校で参加したい人を選んでいただいて、我々が行って説明をして、ワークシートに書いてもらったこともあります。それを踏まえて、我々もお話してるんですが、駅前の方がいいという意見が多かったというのがあります。あと、花巻ブックマークスという、若い方々、大学生などを中心としたグループがありまして、その方々が高校生から、今年度アンケートを取っていると聞いております。それにつきましては、具体的にまとめたものを提出したいというふうに聞いておりますが、まだ正式にいただいてない状況であります。高校生の意見、立地場所につきましては、やっぱり駅のほうが良いという意見が多いですということは聞いております。

(○堀合委員)

確認ですけれども、開館時間については、新花巻図書館に限らず4館の開館時間ということで、考えてよろしいでしょうか。

(○市川生涯学習部長)

いえ、これは新花巻図書館だけの開館時間になります。

(○堀合委員)

そうしますと、他の3館は今まで通りの可能性が高いということですね。前に東和の方だったか、開館時間をあと1時間遅くしてもらえればなという意見があったように思いましたので、今ご質問しました。

(○鈴木花巻図書館長)

議題ではありませんが、前回の協議会で除籍の話した際に、除籍をする前にもっと考えなきゃいけないんじゃないっていうご意見を頂戴して、その流れから、配送で各館が本を本籍館に戻す前に、普段はその館にない本なので、貸し出す機会を作れないのかというご意見いただいておりました。その件に関してのご報告ですが、やり方を試しながらではありますが、3月から、各館で返却された本を本籍館に戻す前に、返

却された館で貸し出しをするという取り組みを始めることで今準備を進めております。

(○坂本会長)

新しいことを取り入れてくださるということなので、歓迎でございます。他にはよろしいですか。それでは事務局の方にお返しいたします。

4 その他

意見なし

5 閉会 (高橋花巻図書館副館長)